

# 金沢大学 編入学 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

## 人間社会学域

### 法学類

法学類は本学独自の「学類」という名称を冠していますが、学べる内容は他大学の法学部と同じです。起源は1949年に創設された法文学部法学科であり、1980年には法学部へ改組し、2008年には現在の法学類となりました。この間、国内外の社会状況は大きく変化し、また、今後も常に変化しつづけることが予想される中で、個々人が他者と共生していくために必要である法と政治に関する基本的な理念や知識は昔も今も不変であり、そして将来も不変でありつづけることでしょう。このような認識の下、法学類では、法学・政治学を体系的に学ぶことを基本としつつ、さらに、現代社会の課題を発見し解決するためには欠かすことのできない、他者に対する共感力と、問題解決のための創造力を養うことを目標としています。

法学類生の主要な進路は官公署・企業・大学院です。そのため、法学類では、希望進路に対応する、公共法政策・企業関係法・総合法学という3つのコースを設けています。各コースへの所属は編入（3年）時に決定されますが、総合法学コースへの所属には、入試時の成績が一定基準以上であることが条件となります。他の2コースは希望通りの所属となります。

#### 求める人材

- ・すでに習得した法学以外の専門分野の知識を生かし、さらに法学を学ぶことによって社会に貢献し得る能力を獲得したいと願っている人
- ・すでに習得した法学・政治学の基本的知識を前提に、これらをさらに深く学ぶことによって法律・政治に関する様々な事象や問題を探求・解決する能力を獲得したいと願っている人

#### 選抜の基本方針

一定の英語能力を有していることを前提として、小論文及び面接により、日頃から社会問題に対する強い関心を有しているか、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを正確に理解し自分の意見を論理的に表現するコミュニケーション能力があるか、などを総合的に評価します。

#### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

- ・高等学校で履修した様々な科目の内容について理解していること
- ・法律や裁判例の読解、政治的問題の把握、これらに基づく私見の提示・論述、に必要な国語力を十分に修得していること
- ・社会的・国際的諸問題の本質を探究し、その解決を図るために必要な社会科目や外国語科目の学力を十分に修得していること

## 理工学域

### 数物科学類

数学、物理学は長い歴史をもつ学問として、互いに大きな影響を与え合いながら発展してきました。今日ではまた、計算機シミュレーションという新しい研究手段の導入によって、これまで困難とされていた複雑な数理や自然現象の理解に大きな進展がもたらされています。それらは自然科学をはじめとする現代のあらゆる科学の基礎を支えていると言っても過言ではありません。数物科学類では、このように21世紀の科学として発展を遂げつつある新しい数学、物理学、計算科学を学ぶことを通じて、社会の発展に寄与できる人材を育成します。編入学生は、数学、物理学、計算科学の3つのコースのいずれかを選択し、より専門的な内容の学習を進めます。

## 求める人材

- ・数学や物理学に興味をもち、それに取り組む熱意と探求心をもっている人
- ・計算機シミュレーション及びそれを用いた科学研究に興味のある人
- ・将来、数学、物理学、計算科学及びそれらの関連分野の研究や教育に携わりたい人
- ・基礎科学をじっくりと学び、それを社会の発展に活かしたいと考えている人

## 選抜の基本方針

- ・数学コースでは、数学（微分積分，線形代数）の基礎学力を重視します。また，より進んだ数学を学ぶ上での適性も面接によって評価します。
- ・物理学コースでは，物理学と数学の基礎学力を重視します。また，面接により物理学を学ぶ意欲と適性も評価します。
- ・計算科学コースでは，数学と物理学の基礎学力を重視します。数理現象，自然現象に対する関心の高さ，興味の高さを動機付けとして評価します。

## 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

- ・数学コースでは，大学理工系基礎科目で学ぶレベルの微分積分と線形代数が必要です。
- ・物理学コースでは，物理学（力学，電磁気学），数学（微分積分，線形代数，ベクトル解析，微分方程式）の基礎学力が必要です。
- ・計算科学コースでは，数学（微分積分，線形代数），物理学（力学，電磁気学），プログラミングの基礎学力が必要です。

## 物質化学類

---

化学は自然界で起こる様々な現象の原子・分子レベルでの理解から，21世紀に必要とされる環境に適した新しい機能性物質の創製，さらに日常の生活を支える様々な化学製品の開発と製造過程に至るまでの幅広い領域を含んでいます。物質化学類では，化学を通じて人類が自然と共生しながら持続的に豊かに生きるための科学・科学技術・文化の発展と充実に貢献し，社会のグローバル化を積極的に担える理学及び工学的素養を身につけた人材の育成を目標としており，“独自に考える力”と“未知の分野に対する強い探究心とチャレンジ精神”の旺盛な人の入学を期待します。

物質化学類には，化学と応用化学の2つのコースがあります。

## 求める人材

- ・自然現象の観察と実験に強い興味を持ち，実験を通して創造的に自然に関わりたい人
- ・独自に考える力と自然に対する好奇心を持ち，発見の感動を味わいたい人
- ・研究を通して得た成果を社会や自然界へ応用することに意欲がある人
- ・専門分野における経験を生かしつつ，大学でさらに専門を深く学びたい人

## 選抜の基本方針

化学コースでは，基礎学力に加え，基礎的科目である物理化学，無機化学，分析化学，有機化学および英語の学力を重視します。

応用化学コースでは，面接（成績証明書，人物調書・推薦書，志願理由書を含む）により，大学の授業を理解するための基礎学力を評価します。

## 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

化学を含む理系基礎科目について十分に理解できていることが必要です。また，教養的科目（言語，社会系科目）も自分の意見をまとめコミュニケーションを行うために必要です。さらに，化学に関する実験科目を履修しておいてください。学生生活の中で，日常的な科学現象に興味を持ち，それらを意欲的に探究する姿勢を身につけてください。

## 機械工学類

---

あらゆる産業の技術革新の基盤となる機械工学の基礎学力と専門知識，さらに，先端技術に対応できる能力を持ち，自然や人間社会との調和を図りつつ，モノづくり工学の持つ社会的使命と責任を果たす，工業・産業の広い分野で活躍できる機械技術者・研究開発者を育成します。そのために，機械の高度化，知能化，超精密化を目指すロボティクス，航空宇宙工学，ナノテクノロジーなどの機械工学先進分野や，医療福祉機器，生活支援機器など人間に密着した機械技術，新エネルギーの開発や環境の保全を目指す機械工学に興味があり，自ら課題探求して問題解決する意欲を持つ人の入学を期待します。

機械工学類には機械システム，知能機械，人間機械およびエネルギー環境の4つのコースがあります。

### 求める人材

- ・先端機械工学への興味，モノづくりへの熱意，人間支援に対する高い志を持ち，講義，実験や実習，さらには研究に積極的に参加して行動できる人
- ・地球環境への関心が高く，グローバルな視野の拡大と国際的コミュニケーション能力の向上に意欲を持つ人
- ・独創性と創造性があり，自ら問題点を解決する意欲を持つ人

### 選抜の基本方針

機械工学にとっての基礎となる数学，物理学，材料力学，熱力学，流れ学，機械力学の学力を重視し，成績証明書（調査書）と口述試験により，基礎学力を評価します。

### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

機械工学にとっての基礎となる数学，物理学，材料力学，熱力学，流れ学，機械力学について，十分理解しておくことが必要です。また，機械工学の先進分野への興味ならびに，人間および環境と調和する機械技術への探求心と問題解決のための意欲を持つことが望まれます。

## 電子情報学類

---

これからの技術者・研究者には，数学，物理学，化学，生物学などの自然科学を基礎として，新しい技術の創造により，産業・技術の発展と地球環境との共生を図りつつ，人間らしい豊かな社会を築く使命があります。電子情報学類は，電子情報技術の持つ社会的使命と責任を自覚した，国際的に活躍できる，個性輝く，自立した技術者の育成を目指しています。具体的には，技術者倫理や環境問題等を理解し，技術者としての社会的使命や責任を果たす能力，自ら課題設定・情報収集・問題分析・解決を遂行し得る能力，自主性・協調性，さらには報告書・発表等のプレゼンテーション能力を育て，創造性豊かな人材を育成します。

電子情報学類が対象とする分野は，大小様々な機器の動作に不可欠なエネルギー・制御・半導体・集積回路技術，情報産業のインフラであるコンピュータ・通信技術，バイオと情報通信技術（ICT）の融合した生命情報からなり，相互に強く関連しながら発展している分野です。この広汎な技術分野を的確に学べるように，本学類には，電気電子，情報システム及び生命情報の3つのコースがあります。これまで学んできた電子情報分野の学問・技術を更に深く学ぶと共に，現代社会における電子情報分野の発展に寄与したい人の応募を期待しています。

### 求める人材

- ・大学での勉学に必要な基礎学力と高い勉学意欲を有し，多様な資質を備えた人
- ・電子情報分野における経験を生かしつつ，大学でさらに専門を深く学びたい人
- ・自然・人間・社会から科学技術に至るまで幅広く関心を持ち，かつ技術と社会のつながりを意識し，自分の力で問題を発見・解決する努力を惜しまない人
- ・未知の分野に対する強い探求心と豊かなチャレンジ精神を持つ人

## 選抜の基本方針

### ■一般入試

数学、英語に加え電子情報分野の基礎科目（電気回路、電磁気学、計算機基礎、情報基礎から2科目選択）の理解度を重視します。

### ■筆記試験免除

出身学校長が人物及び学業成績が共に優れていると認めた者は、面接、提出書類（成績証明書、人物調査書・推薦書、志望理由書）により総合的に評価し選抜します。面接では、電子情報分野の基礎学力を見るときとともに、専門分野への意欲、積極性、論理的思考力についても評価します。

### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

理数系基礎科目（数学、物理学）および英語については、編入学後の本学類における授業及び研究の基礎として非常に大切ですので、しっかりと学び、身につけておいてください。また、電子情報分野の基礎科目はもちろんのこと、実験科目も履修していることが望まれます。

## 環境デザイン学類

---

私たちの生活には、地球環境から生活環境までの安全・安心な環境や豊かな暮らしを支える道路・橋梁・堤防などの社会基盤が不可欠です。環境デザイン学類では、地球環境だけでなく、生活環境や社会基盤の整備などを含めた広い意味で、私たちの暮らしのための「環境」というものを捉え、「環境」について総合的・実践的に教育・研究を行います。

環境デザイン学類には土木建設、環境・防災及び都市デザインの3つのコースがあります。

### 求める人材

求める人材は、地球環境から生活環境までの様々な自然・人間・社会環境に対する調査や分析と共に、それらに配慮した国土創造、安全・安心な社会基盤や都市のデザインに興味があり、かつ、次のような特性を有する、意欲のある人です。

- ・理数科系科目はもとより、人文社会系科目にも興味のある、オールラウンドな実力のある人
- ・地域貢献や社会正義について大いに関心のある人
- ・環境問題をはじめとする社会の動きにいつも関心のある人
- ・創意工夫をすることの好きな人
- ・自分の考えを相手にわかりやすく表現できる人
- ・現在と未来の課題解決に対して積極的に取り組む人
- ・大学院への進学を希望し、より深く学びたい人

### 選抜の基本方針

本学類にとって基本的科目である数学、英語の学力に加え、専門科目の学力を重視します。また、面接では、表現力、勉学意欲、適性及びコミュニケーション能力等を重視します。

### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

本学類の科目を着実に習得するには、特に数学、物理学、化学及び英語について十分な学習が望まれます。また、総合的な学力を身に付けるために、理系のみならず、人文社会系科目の学習も勧めます。さらに、構造、水理、土質、計画、環境等の専門科目についての基礎・応用知識の習得が望まれます。

## 自然システム学類

---

生物・人間・物質・地球で構成されるシステムを自然システムとして捉え、理学と工学の両面から柔軟に思考できる能力を身につける教育を行い、広い視野に立って生物学、バイオ工学、物質工学、環境科学、地

球科学の複合的視点から、このシステムの基本を追求する研究者、その成果を人々の豊かな生活の実現に応用できる技術者、これらの知識の普及や人材育成に貢献できる教育者を養成します。自然システム学類では、科学的探究心に富み、これらの分野の専門知識を生かして活躍したいと考えている学習意欲のある人の入学を期待します。

### 求める人材

- ・理科系科目が好きで、実験や調査などに興味があり学習意欲がある人
- ・自然科学に興味を持ち、探究心、独創性、創造性豊かな人
- ・地球・生物・物質科学の分野で専門家や教育者の道に進みたい人
- ・環境・バイオサイエンス・材料分野で活躍したい人
- ・グローバルな視点を持ち、世界的に活躍したい人

### 選抜の基本方針

4年制大学の2年次修了程度の専門科目（生物学または地学）および英語の学力を評価します。口述試験では、勉学意欲、生物学または地学に対する理解力、論理的思考力等を重視します。選抜は、学力検査、出身学校の成績証明書、志願理由書、口述試験の結果を総合して行います。

### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

4年制大学の2年次修了時まで履修すべき科目（外国語、情報処理の基礎、人文科目、自然科学科目など）について、しっかりと身につけておいてください。自然システム学類の基本的科目である数学、物理学、化学、生物学、地学、英語については、応用能力を含めとくにしっかりと理解し、自然科学全般に広く興味を持って勉強しておくことが望まれます。

## 医薬保健学域

### 医学類

医学類は、従来の医学部医学科に相当し、卒業生には医師国家試験の受験資格が与えられ、合格することによって医師として登録されます。医学類の教育理念は、「人間性を重視し、かつ高度で総合的な能力を有する医療人・医学者の育成を図ることにより、国民の医療、健康、福祉に貢献する」ことです。そのために、「幅広い教養、豊かな感性と人間性への深い洞察力を持ち、コミュニケーション能力を備え、患者中心の全人的医療ができる医師と医学者」を育てることを教育目標とします。また、国民の多様かつ高度な医療ニーズに 대응していくために「明確な目的意識、強い使命感、高い倫理観と協調性」を備えた人材を求めます。

### 求める人材

- ・高度専門職業人として、研究心を持った医師を目指す人
- ・医学研究者を目指す人
- ・厚生医官、法務医官、自治体、保健所など医療行政の分野で活躍したい人
- ・世界保健機構などで医学医療の分野で国際貢献したい人
- ・医薬開発、医療器械開発、バイオ技術開発などのビジネス領域で活躍したい人

### 選抜の基本方針

外国語および専門知識の学力に加え、面接試問での資質適性等を評価します。本制度による入学者には、将来基礎・臨床医学の研究者を目指すことが期待されています。

### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学（理系）の教養課程程度の数学、理科、英語の能力を身に付けておくこと。

## 保健学類

保健学類は、「保健・医療・福祉における科学的な知識・理論・技術の修得と課題探究能力を養成し、豊かな教養と人間性を備えた高度専門医療人と保健学研究者を育成し、国民の医療・福祉の発展に寄与すること」を基本理念とします。

教育目標は、1) 現代社会の抱える諸問題を総合的に洞察できる能力の育成、2) 日本語・外国語による討議・発表能力の育成、3) 保健学における基礎的知識と専門的知識・技術の修得、4) 保健学の知識・技術を活用した課題探究能力の育成、5) 豊かな人間性と高い専門職業人としての倫理観など医療人としての社会的使命感の涵養、6) 学際的保健学知識の統合による教育・研究能力の育成です。

保健学類では、看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻の5専攻を設けます。

### 【看護学専攻】

看護科学は、人間の誕生から死までを包括的に捉え、環境に適応しながら健康に生活することを支援する学問です。看護学専攻では、健康に関わる知識と技術を体系的に学習します。さらに、学内及び学外の医療、保健関係現場での実習を通じて、高い倫理観、専門職としての使命感、医療チームの一員としての責任を学びます。また、研究やゼミを通し、将来の医療科学を担う者として幅広い科学的知識、問題解決方法などを学び、将来の進歩や変化に対応するための能力を養うと同時に、実践力のある指導者、教育者、研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には、\*保健師の国家試験受験資格を取得することができます。

\*保健師課程については、平成26年度入学生（3年次編入学生は平成28年度）から選択制とします。詳細は随時保健学類HPなどに掲載していきますので、保健師を希望している方は確認してください。

### 【放射線技術科学専攻】

診療放射線技師として保健医療を支える有能で意欲のある人材を育成することを目標とします。放射線技術科学専攻では、放射線、磁気や超音波を使用した医療機器の原理や特性、情報処理技術、各種の医療画像形成法、人体の形態、機能並びに医薬品に対する生物学的な特性など広範囲の学問を修め、高度な医療や放射線機器の進歩に対応できる能力を養います。また、放射線を含む量子医療技術について基礎から臨床まで幅広い教育研究を行います。

### 【検査技術科学専攻】

検査技術科学は、主に病気の診断や治療効果判定に対して重要な情報を提供する臨床検査を学習する学問です。本専攻では臨床検査に関わる知識と専門技術を体系的に獲得し、医療現場での実習を通じて医療チームの一員である専門技術者としての役割を学びます。また、研究室配属を通じて、進歩する医療科学を担う深い科学的考察や革新的技術などを取得する能力を養います。

### 【理学療法学専攻】

理学療法学は、リハビリテーション医療の一専門分野です。種々の疾患や事故などにより、神経、筋、骨格、循環器、呼吸器などに損傷や障がいをもたらした人に対して、運動療法や物理療法を駆使して治療に当たります。理学療法学専攻では、理学療法士となるために必要な治療技術を科学的、実践的に修得するとともに、医療人としてあるべき人間性を育成します。

### 【作業療法学専攻】

作業療法士として必要な知識、技術、コミュニケーション能力を修得し、専門職としての能力を高め、研究する態度をもつ人材を養成します。本学の作業療法教育は脳機能解析学や運動器障がいをはじめ、生活能力回復学の領域において幅広い分野の専門教員の下に行われています。作業療法の技術科学を修得し、研究を進め、技術を開発し、社会に役立ちたい人の入学を希望します。

## 求める人材

### 【看護学専攻】

- ・看護の専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・人間の健康、医療問題に対して国際的視野で貢献したいと強く願う人
- ・保健の分野で、新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- ・看護学及び看護の進歩のために、将来のリーダーとなる夢を持つ人

### 【放射線技術科学専攻】

- ・診療放射線技師として保健医療を支えることができる有能な人
- ・高度先進医療に対応し常に努力することができる人
- ・専門的な知識を習得するのみならず研究・思考することができる人
- ・患者の立場に立って行動・発言できる豊かな人間性を持つ人

### 【検査技術科学専攻】

- ・病める人に対する医療のために、知識や専門技術を高めて、社会に貢献する情熱を持つ人
- ・医療科学の分野で新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- ・臨床検査技術の進歩に貢献し、将来のリーダーとなる夢を持つ人

### 【理学療法学専攻】

- ・豊かな人間性と愛情を持ち、学習意欲の高い人
- ・社会のニーズに応え、努力を惜しまない人
- ・理学療法学の今後を担い、人類社会に貢献できる人

### 【作業療法学専攻】

- ・たゆまず努力して、自分の能力を高めようとする人
- ・専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・人間の新たな能力を引出し活用する作業療法を修得し発展させたい人

## 選抜の基本方針

外国語および専門知識の学力に加え、看護学専攻では小論文、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻、作業療法学専攻では面接試問での資質適性等を評価します。

## 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

### 【看護学専攻】

論理的思考力・表現力を身につけるため、文系科目と理系科目の幅広い基礎学力の習得を望みます。  
また、看護師免許を有する者又は取得見込みの者が出願要件の一つであり、専門的知識の習得が必要です。

### 【放射線技術科学専攻】

診療放射線技師免許を有する者又は取得見込みの者が出願要件の一つであり、専門的知識の習得が必要です。

### 【検査技術科学専攻】

臨床検査技師免許を有する者又は取得見込みの者が出願要件の一つであり、専門的知識の習得が必要です。

### 【理学療法学専攻】

理学療法士免許を有する者又は取得見込みの者が出願要件の一つであり、専門的知識の習得が必要です。

### 【作業療法学専攻】

作業療法士免許を有する者又は取得見込みの者が出願要件の一つであり、専門的知識の習得が必要です。